

中央アルプス国定公園

指 定 書
及 び
公 園 計 画 書
(環境省)

令和2年3月27日

環 境 省

中央アルプス国定公園

指 定 書

令和2年3月27日

環 境 省

目 次

1	指定理由	1
2	地域の概要	3
	(1) 景観の特性	3
	ア 地形、地質	3
	イ 植生	3
	ウ 野生動植物	4
	エ 自然現象	4
	オ 文化景観	5
	(2) 利用の現況	5
	(3) 社会経済的背景	5
	ア 土地所有別	5
	イ 人口及び産業	5
	ウ 権利制限関係	7
3	公園区域	10

1 指定理由

① 景観

中央アルプスは長野県南部に位置し、東に天竜川が流れる伊那谷^{いなだに}、西に木曾川が流れる木曾谷^{きそだに}に挟まれた東西約 20km、南北約 100km に走る木曾山脈の通称名であり、ほぼ全山が花崗岩で形成される非火山性連峰である。木曾駒ヶ岳の南側には、代表的な氷河地形であるカール（圏谷^{はんこく}）、モレーン（堆積堤^{たいせきでい}）、氷河湖等が存在するとともに、木曾谷周辺は、山岳部と共通した花崗岩地形の特性を有する地域であり、木曾川の水流によって侵食されてできた渓谷地形や多数の滝が分布する。これら傑出性の高い自然の風景地が広がっていることから、昭和 26 年 11 月 22 日に長野県立自然公園条例に基づき、中央アルプス県立公園に指定された。

本地域の氷河地形は、約 6 万年前と 2 万年前の 2 回の氷期により形成され、特に千畳敷カールは宝剣岳^{ほうけんだけ}から伊那前岳^{いなまえだけ}の主稜線から切れ落ちた岩盤の断崖で成り立つカール壁と、その下に広がる比較的平坦なカール底との 2 つの部分から成り立っている点で特徴的であり、伊那谷から見る千畳敷カールは、人里から壮大なカールを望むことができる点で非常に珍しいことや、本地域に位置する濃ヶ池^{のうがいでい}は、モレーンに囲まれたくぼ地に形成された氷河湖であり、国内では中央アルプスとポロシリ岳（北海道日高山脈）の 2 ヶ所でしか見られない希少なものであることなど、その自然景観は高く評価されている。

本地域の木曾駒ヶ岳から越百山^{こすもやま}までの縦走路周辺は森林限界を超え、ハイマツ帯や風衝草原^{ふうしょうそうげん}となっており、中央アルプスのみに分布する固有種であるヒメウスユキソウ（別名「コマウスユキソウ」）やコケコゴメグサをはじめとする貴重な高山植物が生育し、周辺の亜高山帯

も含めた一帯は、環境省版及び長野県版レッドリストの掲載種でもある高山チョウのクモマベニヒカゲ、ベニヒカゲ、コヒオドシなどの生息域として貴重な環境が広がっている。

中央アルプスは急峻なカール等の氷河地形やそこに成立している貴重な高山帯の生態系等が一体となった「非火山性連峰」を風景型式とした、傑出性の高い風景地となっている。

②規模（区域面積が原則として 1 万 ha 以上）

本国定公園の区域面積は、35,116ha（陸域のみ）である。

③自然性（原生的な景観核心地域が原則として約 1,000ha 以上）

本国定公園の原生的な景観核心地域は、木曾駒ヶ岳、宝剣岳、空木岳^{うつぎだけ}、南駒ヶ岳等の森林限界より標高が高い地域とし、その合計面積は 3,476ha である。

<参考：特別保護地区：176ha、第 1 種特別地域：3,300ha>

④利用（大人数による利用が可能）

本国定公園の主たる利用は登山及び自然探勝であり、特に駒ヶ岳ロープウェイは、国内で最も高い標高にある千畳敷駅を有し、千畳敷カール等に年間 30 万人程度が訪れている。中央アルプスは、かつては登山者しか立ち入ることができなかったが、現在は誰もが気軽に訪れ、自然探勝を楽しむことができる。また、寝覚の床一帯については、駐車場が整備され、木曾川の渓谷地形を楽しむため多くの利用者が訪れる。

これらのことから、利用者の人為の影響を受けやすい希少な自然環境の厳正な保護をはかりつつ、適正な利用の推進を図っていく必要がある。

⑤地域社会の共存（地域社会の理解の獲得）

本国定公園は、古くから林業・林産業、水田・畑作などの一次産業をはじめ、地域の社会生活に密接な関わりを持っており、本国定公園の保護と適正な利用に対する地域住民の関心が高い。地元自治体はじめ関係者の間では、リニア中央新幹線の建設計画等を契機に利用者数の増加などが見込まれることから、本地域の保護と適正な利用の推進が活発に議論されてきた。これまでに地域説明会の開催や、関係市町村の同意を得るにより、地元社会の理解の醸成が図られている。

以上を踏まえ、「国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領（平成 25 年 5 月 17 日付環自国発第 1305171 号 環境省自然環境局長通知）」に記載される要件を満たすことから、本地域を国定公園に指定する。

また、本国定公園は、東側の伊那谷、西側の木曾谷に住む人々が、古くから林業・林産業、水田・畑作など中央アルプスの自然の恵みを楽しみ、自然と共生した生活を営んできた。

このことから、本国定公園のテーマを「アルプスの自然と山の暮らし～氷期からつづく山・谷人が守る山」とし、我が国を代表する典型的な氷河地形や、高山帯の貴重な生態系を将来にわたって厳正に保護し、伊那谷と木曾谷に住む谷人の暮らしの中で育まれた風致景観を適切に保全するとともに、林業・林産業等の地域産業の振興を図りつつ、適正な利用を推進するものである。

なお、中央アルプス県立公園の指定範囲全域を国定公園に指定し、県立自然公園の指定は解除される。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形・地質

中央アルプスの主稜線部には、約 8,000 万年～7,000 万年前にマグマが冷え固まってできた岩石（深成岩）である木曾駒花崗岩と伊奈川花崗岩が分布している。

本地域の氷河地形は、約 6 万年前と 2 万年前の 2 回の氷期により形成され、特に千畳敷カールは宝剣岳から伊那前岳の主稜線から切れ落ちた岩盤の断崖で成り立つカール壁と、その下に広がる比較的平坦なカール底との 2 つの部分から構成され、カール底にはハイマツやダケカンバ等に覆われたモレーンがある点で特徴的であり、また伊那谷から見る千畳敷カールは、人里から壮大なカールを望むことができる点で非常に珍しい。

木曾駒ヶ岳付近に位置する濃ヶ池は、モレーンに囲まれたくぼ地に形成された氷河湖であり、国内では中央アルプスとポロシリ岳（北海道日高山脈）の 2 ヶ所でしか確認されていないほか、雪の重さで石畳状の地形が形成されるペーブルメントが国内で唯一存在する。

千畳敷カールを中心とする範囲は、これら特異な地形・地質により、昭和 46 年に長野県の天然記念物（地質・鉱物）に指定されている。稜線部は硬い花崗岩と柔らかい花崗岩が交互に連続しているため、岩塊斜面と砂礫地が交互に現れる。岩塊斜面には氷期の強力な凍結破砕作用で花崗岩が割れた巨石が多く残り、特徴的な景観となっている。また、砂礫地の斜面部は階段状構造土となっており、植被も特徴的である。

イ 植生

植生の構成について、中央アルプスと北アルプス及び南アルプスは概ね類似している。標高 2,500m 以上の高山帯（森林限界）には高山低木群落（ハイマツ帯）や高山ハイデ及び風衝草原が分布している。標高 1,700m から 2,500m の亜高山帯にはシラビソ等の常緑針葉樹林が分布しており、南部山域の亜高山帯には他のアルプスでは見られない「ササ自然草原」が広く分布している。山地帯にはコナラやミズナラ等の広葉樹、ヒノキ、ツガ等の針葉樹、カラマツ等の人工林の森林が形成されている。なお、森林限界は高山低木群落がみられる標高 2,600m 前後である。

恵那山^{えなさん}の低山帯や、寝覚^{ねぎめ}の床^{とこ}及び木曾田立^{きそただち}の滝^{たき}周辺には、ヒノキ群落及びカラマツの人工林が広く分布している。また、恵那山周辺は南方系の北限域、北方系の植物の南限域に位置しており、1,100 種を超える植物が生育している。

高山帯はその低温や積雪、強風といった厳しい自然環境により、ハイマツなどの低木林や、お花畑と呼ばれる雪田草原、風衝草原など特徴的な植生を有し、高山植物や高山蝶等の希少な生物が多く存在している。また、本地域においても固有種としてヒメウスユキソウ及びコケゴメグサの 2 種が生育している。ヒメウスユキソウは、本州に生育するエーデルワイスの 4 種の中で唯一、花崗岩地域に生育する種である。コケゴメグサは、1982 年に新種登録された日本のコゴメグサの中で最も小さい種である。これらの希少な植物が高山帯に分布している。

ウ 野生動植物

①動物

i) 哺乳類

高山帯に出現・生息する主な哺乳類は5目7科8種である。このうち、ニホンカモシカは国の特別天然記念物、ヤマネは国の天然記念物、オコジョは長野県天然記念物である。

ii) 鳥類

高山帯には、18種の鳥類が確認されており、そのうち、高頻度で確認されているのは7種である。アマツバメ及びイワツバメは、岩場等の特定の場所に営巣し、グループで共同繁殖することで知られている。イワヒバリは岩場に営巣し、グループで共同繁殖することで知られており、中央アルプスでもいくつかの繁殖グループが確認されている。

1960年代までは中央アルプスでもライチョウの目撃情報があったが、その後確認情報がなくなり絶滅したとされていたが、2018年7月に乗鞍岳から飛来したと推定されるメス1羽が確認された。

iii) 昆虫類

高山チョウ類については、長野県内に生息する全9種のうち、クモマベニヒカゲ、ベニヒカゲ、コヒオドシの3種が空木岳～木曾駒ヶ岳で確認されている。クモマベニヒカゲとベニヒカゲは、他の生息地の個体群とは遺伝子系統が異なる独立した個体群であり、中央アルプスは重要な生息場である。これらの高山チョウは、高山帯のほか、周辺の亜高山帯も含めた一帯に生息している。

中岳では、ハイマツを採食する新種のハチ（タカネシママツハバチ）が確認されている。

②植物

中央アルプスでは49科251種の植物の生育が確認されており、そのうち約170種が高山植物である。中央アルプスの固有種として、ヒメウスユキソウ及びコケコゴメグサの2種が確認されている。

ヒメウスユキソウは、本州に生育するウスユキソウ属の4種の中で唯一、花崗岩地域に生育する種である。コケコゴメグサは、1982年に新種登録された日本のコゴメグサの中で最も小さい種である。その他にも環境省版及び長野県版の「日本の絶滅の恐れのある野生生物（レッドリスト）」に掲載されている絶滅危惧植物が26種類生育している。これらの高山植物は、中央アルプスの主に北部に分布しており、特に千畳敷カール周辺ではお花畑として知られている。これらの植物は高山チョウ類の成長期の蜜源となっているため、生態系的にも重要な役割を担っている。

エ 自然現象

雪形は、雪解けの際にハイマツ等の植生や大きな岩塊の部分の雪が早くとけて、一時的に山肌に黒や白模様が現れることを示し、農耕の時期の目安となる等、生活に密着した景観資源となっている。中央アルプスには、数多くの雪形が存在し、駒ヶ岳の名称のよりどころともされた「中岳の駒形」、宝剣岳とそれに続く稜線からやや低い峰々の中にある「島田娘」、その近くにある翼を広げた

白い鷺が舞い降りるかのような「サギダルの頭^{かしら}」等が有名である。

オ 文化景観

本国立公園は、東側の伊那谷、西側の木曾谷に住む人々が、古くから林業・林産業、水田・畑作など中央アルプスの自然の恵みを楽しみ、自然と共生した生活を営んできた。

木曾駒ヶ岳登山の歴史は古く、治承4年(1180年)、木曾義仲が木曾から中央アルプスを越えて伊那へ攻め込んだという伝承が残っている。以後、登山の目的は、信仰のためや領主の領内検分にかかわるものが大部分であった。暦応元年(1338年)には、山路を開いて八社の大神を祀った記録があり、信仰の山として知られることとなった。天文元年(1532年)には、木曾上松の徳原春安という人物が木曾駒ヶ岳山頂に駒ヶ岳神社を建てたとして伝えられている。(創建については、天文元年7月、天文3年及び天文6年等諸説ある。)

(2) 利用の現況

本地域の利用は主に登山及び自然探勝である。千畳敷カールは、1967年(昭和42年)7月にロープウェイが開通されたことで誰でも高山を楽しむことが可能となった。特に高山植物の開花期にあたる6~8月は周辺地域全体がお花畑になり、大勢の観光客が訪れる。

その他、恵那山域での星空観賞やスキー、寝覚の床周辺地域の観光利用、木曾田立の滝周辺地域でのハイキングによる自然観察等が行われている。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本地域は、公園区域 35,116ha のうち、国有地 24,206ha (68.9%)、公有地 8,167ha (23.3%)、私有地 2,743ha (7.8%) である。

イ 人口及び産業

本区域に係る各市町村の世帯数及び人口は、平成27年国勢調査結果(総務省)によると次のとおりである。

県名	市町村名		世帯数(世帯)	人口(人)
長野県	飯田市		37,694	101,581
	伊那市		26,231	68,271
	駒ヶ根市		12,437	32,759
	塩尻市		26,350	67,135
	上伊那郡	飯島町	3,325	9,530
		宮田村	3,122	8,821
	下伊那郡	松川町	4,355	13,167
		高森町	4,247	13,080
		阿智村	2,188	6,538

	木曾郡	上松町	1,864	4,670
		南木曾町	1,713	4,313
		大桑村	1,522	3,825
		木曾町	4,942	11,826

平成 22 年調査と平成 27 年調査の比較では、すべての市町村で人口が減少したが、世帯数の減少は約半数の市町村にとどまっている。

本地域は大部分が森林地域であり、国有林が約 68%を占める。主な産業はスキー場や山小屋経営等の観光業や林業である。

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

(国有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	長野県飯田市地内	554	昭和 35.9.9
	長野県塩尻市地内	283	昭和 61.7.28
	長野県駒ヶ根市地内	706	昭和 33.2.4
	長野県上伊那郡飯島町地内	711	昭和 23.3.6
	長野県上伊那郡宮田村地内	2,593	昭和 33.2.4
	長野県下伊那郡松川町地内	863	昭和 26.3.22 他
	長野県下伊那郡阿智村地内	1,208	昭和 26.3.22 他
	長野県木曾郡上松町地内	636	昭和 32.12.4
	長野県木曾郡南木曾町地内	1,464	昭和 32.12.4 他
	長野県木曾郡大桑村地内	6,163	昭和 32.12.4
	長野県木曾郡木曾町地内	304	平 8.10.22
土砂流出防備	長野県塩尻市地内	284	昭和 50.3.29
	長野県駒ヶ根市地内	2,310	昭和 10.11.26 他
	長野県上伊那郡飯島町地内	1,923	昭和 10.11.26
	長野県下伊那郡阿智村地内	45	昭和 9.5.21
	長野県木曾郡上松町地内	2,277	昭和 32.12.4 他
	長野県木曾郡南木曾町地内	262	昭和 48.7.18
	長野県木曾郡木曾町地内	1,527	昭和 32.12.4
風致	長野県木曾郡上松町地内	79	平成元.8.19

(民有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	長野県飯田市地内	5,882	昭和 26.3.22 他
土砂流出防備	長野県上伊那郡飯島町地内	754	大正 2.7.4 他
	長野県上伊那郡宮田村地内	286	大正 2.4.18 他
	長野県下伊那郡松川町地内	63	大正 2.11.1
	長野県下伊那郡阿智村地内	2,333	昭和 10.5.9
	長野県木曾郡上松町地内	29	大正 8.4.9
	長野県木曾郡南木曾町地内	111	昭和 42.8.18 他
	長野県木曾郡木曾町地内	323	昭和 9.5.21

(イ) 鳥獣保護区

(県指定)

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
白川	長野県塩尻市市内	567	昭和 58.11.1
駒ヶ根高原	長野県駒ヶ根市市内	2,972	昭和 59.11.1
木曾駒ヶ岳・三ノ沢	長野県木曾郡上松町内	1,604	平成 9.11.1
大島山	長野県下伊那郡松川町内	777	昭和 60.11.1
千人塚	長野県上伊那郡飯島町内	面積不明	昭和 42.11.1
摺古木	長野県飯田市内	220	昭和 56.11.1
太平峠県民の森	長野県飯田市内	586	昭和 56.11.1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

(国指定)

区分	名称	位置	指定年月日
特別天然記念物	カモシカ	地域を定めず指定	昭和 30.2.15
特別天然記念物	ライチョウ	地域を定めず指定	昭和 30.2.15
天然記念物	イヌワシ	地域を定めず指定	昭和 40.5.12
天然記念物	ヤマネ	地域を定めず指定	昭和 50.6.26
名勝	寢覚の床	長野県木曾郡上松町内	大正 12.3.07
史跡	神坂峠遺跡	長野県下伊那郡阿智町内	昭和 56.9.04

(県指定)

区分	名称	位置	指定年月日
名勝	田立の滝	長野県木曾郡南木曾町内	昭和 49.1.17
天然記念物	モリアオガエルの繁殖地	長野県飯田市内	昭和 43.5.16
天然記念物	ミヤマモンキチョウ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	ミヤマシロチョウ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	クモマツマキチョウ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	タカネヒカゲ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	ベニヒカゲ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	クモマベニヒカゲ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	オオイチモンジ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	コヒオドシ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	タカネキマダラセセリ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	ヤリガタケシジミ	地域を定めず指定	昭和 50.2.24
天然記念物	ホンシュウモモンガ	地域を定めず指定	昭和 50.11.04
天然記念物	ホンドオコジョ	地域を定めず指定	昭和 50.11.04

天然記念物	ヤツガシラ	地域を定めず指定	昭和 60.7.29
天然記念物	ブッポウソウ	地域を定めず指定	昭和 60.7.29
天然記念物	中央アルプス駒ヶ岳	長野県駒ヶ根市内、 長野県上伊那郡宮田村内	昭和 46.8.23

3 公園区域

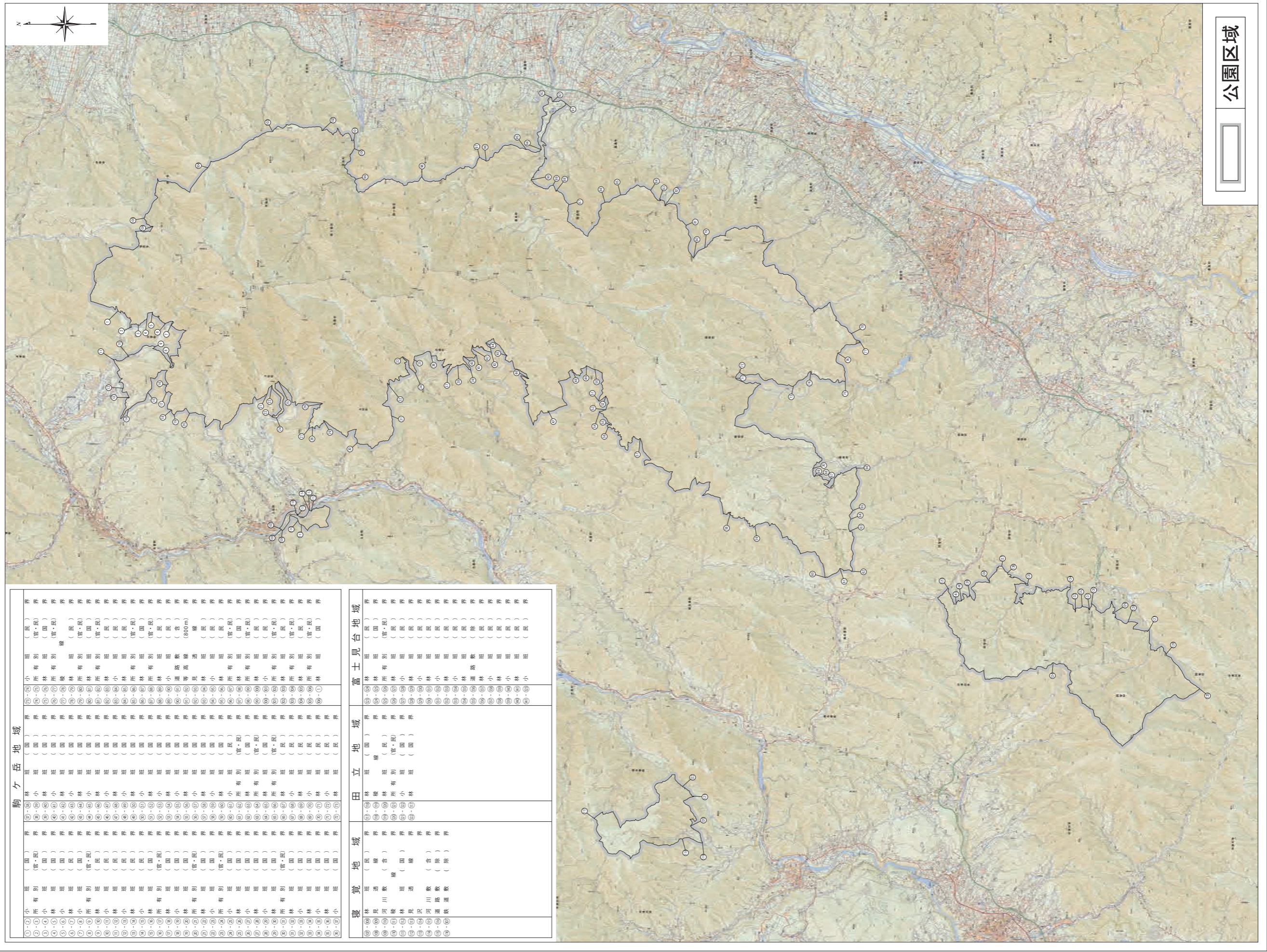
中央アルプス国立公園の区域を、次のとおりとする。

(表 1：公園区域（陸域）表)

都道府県	区域	面積(ha)
長野県	飯田市内 国有林南信森林管理署 3196 林班から 3201 林班まで及び 3203 林班から 3214 林班までの全部 飯田市 大字松川入及び大字大平の各一部	6,556
	伊那市 大字伊那の一部	517
	駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2101 林班から 2110 林班まで、2150 林班から 2151 林班まで及び 2253 林班から 2263 林班までの全部 駒ヶ根市 大字赤穂の一部	3,097
	塩尻市内 国有林中信森林管理署 1527 林班から 1531 林班まで及び 1536 林班の全部	567
	上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2215 林班から 2219 林班まで、2229 林班から 2252 林班まで及び 2264 林班の全部並びに 2275 林班の一部 上伊那郡飯島町 大字七久保の一部	3,674
	上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2111 林班から 2149 林班までの全部 上伊那郡宮田村 新田の一部	2,971
	下伊那郡松川町内 国有林南信森林管理署 2211 林班から 2214 林班まで、2220 林班から 2224 林班まで及び 2266 林班から 2270 林班までの全部 下伊那郡松川町 大字上片桐及び大字大島の各一部	940
	下伊那郡高森町 大字吉田及び大字山吹の各一部	439

長野県	<p>下伊那郡阿智村内 国有林南信森林管理署 3302 林班から 3318 林班までの全部 下伊那郡阿智村 大字清内路及び大字智里の各一部</p>	3,092
	<p>木曽郡上松町内 国有林木曽森林管理署 21 林班、22 林班、26 林班、317 林班から 331 林班まで、343 林班、344 林班及び 346 林班から 352 林班まで の全部並びに 332 林班から 334 林班まで、337 林班、338 林班、341 林班及び 342 林班の各一部 木曽郡上松町 大字小川の一部</p>	3,038
	<p>木曽郡南木曽町内 国有林木曽森林管理署南木曽支所 92 林班、94 林班、326 林班から 328 林班まで、335 林班から 338 林班まで、376 林班、377 林班、 565 林班、573 林班から 589 林班まで、593 林班から 598 林班まで 及び 2117 林班から 2138 林班までの全部並びに 378 林班から 380 林 班まで、386 林班及び 2116 林班の各一部 木曽郡南木曽町 大字吾妻及び大字田立の各一部</p>	1,931
	<p>木曽郡大桑町内 国有林木曽森林管理署南木曽支所 1321 林班から 1334 林班まで、 1361 林班から 1366 林班まで、1369 林班、1370 林班、1373 林班、 1376 林班、1377 林班、1395 林班から 1397 林班まで、1399 林班、 1412 林班及び 1418 林班の全部並びに 1336 林班、1339 林班、1355 林班、1356 林班、1360 林班、1367 林班、1368 林班、1371 林班、 1372 林班、1386 林班、1387 林班、1393 林班、1394 林班、1400 林 班から 1402 林班まで、1408 林班、1410 林班、1411 林班及び 1414 林班から 1417 林班までの各一部</p>	6,128
	<p>木曽郡木曽町内 国有林木曽森林管理署 640 林班、643 林班、644 林班、647 林班から 652 林班まで、657 林班、660 林班及び 662 林班の全部並びに 641 林班、642 林班、645 林班、646 林班、648 林班、653 林班から 656 林班まで、658 林班及び 664 林班の各一部 木曽郡木曽町 大字新開及び大字福島の各一部</p>	2,166
	合計	35,116

中央アールプス国定公園 公園区域図



S=1:50,000
0 1000 2000 3000 4000m

公園区域

中央アルプス国定公園

公園計画書

令和2年3月27日

環 境 省

目 次

1	基本方針	1
(1)	規制計画	1
ア	保護規制計画及び関連事項	1
(ア)	特別地域	1
ア)	特別保護地区	1
イ)	第1種特別地域	2
ウ)	第2種特別地域	2
エ)	第3種特別地域	2
(イ)	関連事項	2
(2)	事業計画	2
ア	施設計画	2
(ア)	利用施設計画	2
イ	生態系維持回復計画	3
2	規制計画	4
(1)	保護規制計画及び関連事項	4
ア	特別地域	4
(ア)	特別保護地区	6
(イ)	第1種特別地域	8
(ウ)	第2種特別地域	13
(エ)	第3種特別地域	17
イ	関連事項	23
(ア)	普通地域	23
ウ	面積内訳	24
3	事業計画	26
(1)	施設計画	26
ア	保護施設計画	26
イ	利用施設計画	27
(ア)	集団施設地区	27
(イ)	単独施設	29
(ウ)	道路	37
a	車道	37
b	歩道	38
(エ)	運輸施設	41
(2)	生態系維持回復計画	42

1 基本方針

中央アルプス国定公園は長野県南部に位置し、日本でも代表的な非火山の連峰である木曾山脈のほぼ全域（南北約 100km）と、木曾谷に位置する寝覚の床及び木曾田立の滝周辺の地域一帯のことである。

山岳部は、ほぼ全域に花崗岩が分布しており、約 6 万年前と 2 万年前の 2 回の氷期により形成された氷河地形や氷河湖、岩塊斜面と砂礫地が交互に現れる特徴的な山岳景観を有している。木曾駒ヶ岳の南側には、長野県の天然記念物（地質・鉱物）の指定を受ける氷河地形である千畳敷カールがある。この千畳敷カールは、宝剣岳から伊那前岳の主稜線から切れ落ちた岩盤の断崖で成り立つカール壁と、その下に広がる比較的平坦なカール底との 2 つの部分から成り立っている点で特徴的であり、伊那谷から見る千畳敷カールは、人里から壮大なカールを望むことができる点で非常に珍しく、日本を代表するカールと言える。また、木曾駒ヶ岳の東側に位置する濃ヶ池はモレーンに囲まれたくぼ地に形成された氷河湖である。

木曾駒ヶ岳から越百山までの縦走路周辺は、森林限界を超える風衝草原となっており、中央アルプスのみに分布する固有種であるヒメウスユキソウ（別名「コマウスユキソウ」）やコケゴメグサをはじめとする貴重な高山植物が生育する。また、周辺の亜高山帯も含めた一帯は、環境省版及び長野県版レッドリストの掲載種でもある高山チョウのクモマベニヒカゲ、ベニヒカゲ、コヒオドシなどの生息域として貴重な環境が広がっている。

また、木曾谷周辺は、山岳部と共通した花崗岩地形の特性を有する地域であり、木曾川の水流によって侵食されてできた溪谷地形や多数の滝が分布している。

このように、本国定公園は国内でも有数の自然景観を有しており、ロープウェイにより当該国定公園の核心部分に誰もが気軽に訪れることができる一方、希少な自然が人為の影響を極めて受けやすい状況にある。今後、リニア中央新幹線開通等により交通アクセスが容易になれば、首都圏や中京圏から観光客がさらに増加することが見込まれる。

こうしたことから、人為の影響を受けやすい希少な自然環境の厳正な保護と、優れた自然の風景地である本国定公園の適正な利用の両立を図っていく必要がある。

併せて、東側の伊那谷、西側の木曾谷に住む谷人のくらしの中で育まれた景観を、今後とも適切に保全していく必要がある。

このような状況を踏まえ、「アルプスの自然と山のくらし～氷期からつづく山・谷人が守る山」をテーマに、以下の方針により公園計画を定めるものとする。

(1) 規制計画

ア 保護規制計画及び関連事項

(ア) 特別地域

ア) 特別保護地区

木曾駒ヶ岳山頂南東付近には、約 6 万年前と 2 万年前の 2 回の氷期により形成された氷河地形があり、特に宝剣岳から伊那前岳の主稜線から切れ落ちた岩盤の断崖で成り立つカール壁と、その下に広がる比較的平坦なカール底との 2 つの部分から成り立っている点で特徴的で学術上も貴重な千畳敷カールをはじめ、国内では珍しいモレーンに囲まれたくぼ地に形成された氷河湖である濃ヶ池、積雪の重みで礫が石畳状になったペーブメント地形

など希少な氷河地形が点在し、雄大で躍動的な景観を有している。

また、本州に生育するエーデルワイス4種の中で唯一花崗岩地域に生育するヒメウスユキソウ等の高山植物や、高山チョウなどの生息・生育地となっている。

これら、千畳敷カール、濃ヶ池、ペーブメントなど、国内に存在する氷河地形の中でも希少かつ特徴的な氷河地形と優れた風致景観を有する地域、特に人為の影響を受けやすい地域や貴重な高山植生及び高山チョウの生息地を保護するため、木曾駒ヶ岳山頂南東付近を特別保護地区とする。

イ) 第1種特別地域

木曾駒ヶ岳から越百山までの縦走路周辺等、森林限界付近より標高の高い所は、高山帯の植生が広く分布しており、希少な高山生物の生息・生育地となっている。特に稜線沿いの砂礫地には、中央アルプス固有のヒメウスユキソウ及びコケコゴメグサを含む高山植物が広く分布しており、それらを吸蜜するクモマベニヒカゲ、ベニヒカゲ等の高山チョウが生息している。

これら、森林限界付近から標高の高い高山帯地域で、重要な氷河地形、優れた風致景観を有する地域、貴重な高山植生及び高山チョウの生息地、高山帯の天然林を有する地域の風致を維持するため第1種特別地域とする。

ウ) 第2種特別地域

亜高山帯の天然林を有し、優れた風致景観を有する地域又は第1種特別地域と一体となって風致を形成する地域の風致を維持するため第2種特別地域とする。

エ) 第3種特別地域

低標高地の天然林及び二次林、針葉樹を主体とする人工林を有する地域、第1種特別地域、第2種特別地域と一体をなす森林地域の風致を維持するため第3種特別地域とする。

(イ) 関連事項

ア) 普通地域

特別地域を補完するとともに、特別地域と一体となり風景を形成する地域を普通地域とする。

(2) 事業計画

ア 施設計画

(ア) 利用施設計画

ア) 集団施設地区

寢覚の床周辺では、巨大な花崗岩の白色と川面のエメラルドグリーンが絶妙な色彩を有しており、その雄大な景観を楽しむための利用拠点を計画に位置づける。また、既設の園

地や眺望施設、駐車場等で公園利用に資する施設を計画に位置づける。

イ) 単独施設

山岳景観や溪流景観等を探勝するため、適正な利用の推進が図れるように各種施設を配置する。中央アルプスの主稜線部においては、登山利用者のニーズと山岳景観の観賞に適した施設を、溪流沿いにおいては、主要地点に園地を設け、様々な人が森林とのふれあいと景観を楽しめる施設等を計画に位置づける。

ウ) 道路（車道）

車道については、公園内の移動や各利用拠点を連絡することと同時に、公園外から連絡することを目的とする。

エ) 道路（歩道）

歩道については、山岳景観や溪流景観等に触れ合うことを目的とする。木曾山脈の主稜線部においては、南アルプスや北アルプスを眺望できるパノラマビューを楽しむことのできるものとし、また、低山や溪流沿いでは様々な人が安全に自然と触れ合いの場を楽しめるものとする。

イ 生態系維持回復計画

公園内の生態系の維持又は回復を図るため、ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル等による生態系への影響を把握するためのモニタリング調査を実施するとともに、その防除等（防鹿柵設置等）によって、高山帯における生態系への影響の低減を図る。また、これらの対策の効果を検証するため、事後モニタリングを実施し、その成果を対策に反映する順応的管理を実施する。

2 規制計画

(1) 保護規制計画及び関連事項

ア 特別地域

次の区分を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
長野県	飯田市内 国有林南信森林管理署 3196 林班から 3201 林班までの全部	2,692
	飯田市内 大字大平及び大字松川入の各一部	〔 国 184 〕 〔 公 2,235 〕 〔 私 273 〕
	伊那市 大字伊那の一部	517
		〔 国 0 〕 〔 公 263 〕 〔 私 254 〕
	駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2101 林班から 2110 林班まで、2150 林班、2151 林班及び 2253 林班から 2263 林班までの全部	3,097
	駒ヶ根市 大字赤穂の一部	〔 国 3,022 〕 〔 公 75 〕 〔 私 0 〕
	塩尻市内 国有林中信森林管理署 1527 林班から 1531 林班まで及び 1536 林班の全部	567
		〔 国 567 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2235 林班から 2252 林班までの全部及び 2264 林班の一部	2,129	
上伊那郡飯島町 大字七久保の一部	〔 国 1,665 〕 〔 公 191 〕 〔 私 273 〕	
上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2111 林班から 2149 林班までの全部	2,971	
上伊那郡宮田村 新田の一部	〔 国 2,629 〕 〔 公 270 〕 〔 私 72 〕	
下伊那郡阿智村内 国有林南信森林管理署 3302 林班から 3318 林班までの全部	1,429	
下伊那郡阿智村 大字清内路及び大字智里の各一部	〔 国 1,254 〕 〔 公 175 〕 〔 私 0 〕	

長野県	木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 21 林班、22 林班、26 林班、317 林班から 331 林班まで、343 林班、344 林班、346 林班から 352 林班まで、358 林班及び 359 林班の全部並びに 332 林班から 334 林班まで、337 林班、338 林班、341 林班及び 342 林班の各一部 木曾郡上松町 大字小川の一部	〔 3,038 〕 国 2,988 公 28 私 22
	木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 326 林班から 328 林班まで、335 林班から 338 林班まで、376 林班、377 林班、565 林班、573 林班から 589 林班まで、593 林班から 598 林班まで及び 2117 林班から 2124 林班までの全部並びに 92 林班、94 林班、378 林班から 380 林班まで、386 林班、2116 林班、2125 林班及び 2126 林班の各一部 木曾郡南木曾町 大字吾妻及び大字田立の各一部	1,474 〔 国 1,280 〕 公 122 私 72
	木曾郡大桑村内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 1321 林班から 1334 林班まで、1361 林班から 1366 林班まで、1369 林班、1370 林班、1373 林班、1376 林班、1377 林班、1395 林班から 1397 林班まで、1399 林班、1412 林班及び 1418 林班の全部並びに 1336 林班、1339 林班、1355 林班、1356 林班、1360 林班、1367 林班、1368 林班、1371 林班、1372 林班、1386 林班、1387 林班、1393 林班、1394 林班、1400 林班から 1402 林班まで、1408 林班、1410 林班、1411 林班及び 1414 林班から 1417 林班までの各一部	6,128 〔 国 6,128 〕 公 0 私 0
	木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 640 林班、643 林班、644 林班、647 林班から 652 林班まで、657 林班、660 林班及び 662 林班の全部並びに 641 林班、642 林班、645 林班、646 林班、653 林班から 656 林班まで、658 林班及び 664 林班の各一部	1,843 〔 国 1,843 〕 公 0 私 0
合 計		25,885 〔 国 21,560 〕 公 3,359 私 966

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区分を特別保護地区とする。

(表 2 : 特別保護地区総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
長野県	駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2110 林班の一部	34 〔 国 34 〕 公 0 私 0
	上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2111 林班及び 2135 林班の各一部	142 〔 国 142 〕 公 0 私 0
合 計		176 〔 国 176 〕 公 0 私 0

(表3：特別保護地区内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
千畳敷カール周辺一帯	長野県駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2110 林班の一部 長野県上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2111 林班及び2135 林班の各一部	<p>千畳敷カール周辺一帯は、カール壁が断層の作用により 2 段構造となっており、宝剣岳から伊那前岳の主稜線から切れ落ちた岩盤の断崖で成り立つカール壁と、その下に広がる比較的平坦なカール底で構成されている。</p> <p>濃ヶ池は、モレーンに囲まれたくぼ地に形成された氷河湖であり、国内では希少な氷河地形の一つであり、雪の重さで石畳状の地形が形成されるペーブルメントが国内で唯一存在する等、希少な氷河地形が存在する。</p> <p>また、この地域は優れた景観を有する地域で、特に人為の影響を受けやすい地域でもある。</p> <p>千畳敷カールのお花畑には中央アルプス固有のヒメウスユキソウ、コケコゴメグサを含む高山植物が分布するほか、その蜜を求めて高山チョウウが生息する。</p> <p>これらのことより、特に厳重に景観の維持を図るべき地区である。</p>	176 176 0 0 [国 公 私]

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
長野県	伊那市 大字伊那の一部	28 〔 国 0 〕 公 28 私 0
	駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2101 林班から 2103 林班まで、2109 林班及び 2110 林班の各一部	758 〔 国 758 〕 公 0 私 0
	塩尻市内 国有林中信森林管理署 1536 林班の一部	5 〔 国 5 〕 公 0 私 0
	上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2246 林班から 2248 林班までの全部並びに 2236 林班、2237 林班、2240 林班から 2242 林班まで及び 2249 林班の各一部	500 〔 国 500 〕 公 0 私 0
	上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2111 林班、2135 林班、2136 林班及び 2139 林班の各一部	461 〔 国 461 〕 公 0 私 0
	木曽郡上松町内 国有林木曽森林管理署 21 林班、22 林班、26 林班、358 林班及び 359 林班の各一部	414 〔 国 414 〕 公 0 私 0
	木曽郡南木曽町内 国有林木曽森林管理署南木曽支署 92 林班、2117 林班、2118 林班、2120 林班、2121 林班、2125 林班及び 2126 林班の各一部	31 〔 国 31 〕 公 0 私 0
	木曽郡大桑村内 国有林木曽森林管理署南木曽支署 1369 林班、1370 林班、1400 林班、1412 林班及び 1418 林班の各一部	821 〔 国 821 〕 公 0 私 0

長野県	木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 644 林班及び 649 林班から 654 林班までの各一部	<table style="border: none;"> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none; text-align: right;">282</td></tr> <tr><td style="border: none;">〔 国</td><td style="border: none; text-align: right;">282</td></tr> <tr><td style="border: none;">公</td><td style="border: none; text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="border: none;">私</td><td style="border: none; text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="border: none;">〕</td><td style="border: none;"></td></tr> </table>		282	〔 国	282	公	0	私	0	〕	
	282											
〔 国	282											
公	0											
私	0											
〕												
合 計		<table style="border: none;"> <tr><td style="border: none;"></td><td style="border: none; text-align: right;">3,300</td></tr> <tr><td style="border: none;">〔 国</td><td style="border: none; text-align: right;">3,272</td></tr> <tr><td style="border: none;">公</td><td style="border: none; text-align: right;">28</td></tr> <tr><td style="border: none;">私</td><td style="border: none; text-align: right;">0</td></tr> <tr><td style="border: none;">〕</td><td style="border: none;"></td></tr> </table>		3,300	〔 国	3,272	公	28	私	0	〕	
	3,300											
〔 国	3,272											
公	28											
私	0											
〕												

(表5：第1種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
木曾山脈連峰	長野県駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2101 林班から 2103 林班まで、2109 林班及び 2110 林班の各一部 長野県塩尻市内 国有林中信森林管理署 1536 林班の一部 長野県上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2246 林班から 2248 林班までの全部並びに 2236 林班、2237 林班、2240 林班から 2242 林班まで及び 2249 林班の各一部 長野県上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2111 林班、2135 林班、2136 林班及び 2139 林班の各一部 長野県木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 358 林班及び 359 林班の各一部 長野県木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 92 林班、2117 林班、2118 林班、2120 林班、2121 林班、2125 林班及び 2126 林班の各一部	木曾山脈連峰を代表とする木曾駒ヶ岳（標高 2,956m）や宝剣岳（標高 2,956m）と、これらの山頂を結ぶ稜線部周辺は木曾駒花崗岩と伊奈川花崗岩が分布しており、これらの花崗岩は、約 8,000 万年～7,000 万年前にマグマが冷え固まってできた深成岩である。空木岳（標高 2,864m）はまるで独立峰のように孤高の姿を見せる日本百名山のひとつであり、南駒ヶ岳（標高 2,841m）は木曾駒ヶ岳と対照的にどっしりと構える山容の山である。 稜線部は、硬い花崗岩と柔らかい花崗岩が交互に連続しているため、岩塊斜面と砂礫地が交互に現れ、花崗岩の河期の強力な凍結溶解作用で花崗岩が割れた巨石が多く残り、空木岳の駒石はその代表と言える。植生はハイマツやダケカンバ等の高山性の自然林が広く分布しており、ニホンカモシカやオオコジョ等の哺乳類、大型猛禽類等が生息する。 稜線沿いの砂礫地の斜面部は階段状構造土となっており、チョウノスケソウやクロユリ等の高山植物の生育場としてとても重要である。	

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
	<p>長野県木曾郡大桑村内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 1369 林班、1370 林班、1400 林班、1412 林班及び 1418 林班の各一部 長野県木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 644 林班及び 649 林班から 654 林班までの各一部 長野県伊那市 大字伊那の一部</p>	<p>稜線からは、東側に南アルプス国立公園、西に中部山岳国立公園、御嶽山、白山等を終始眺望できる絶景の場である。 これらのことから、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域である。</p>	<p>3, 250 〔 国 3, 222 公 0 私 28 〕</p>
寢覚の床	<p>長野県木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 21 林班、22 林班及び 26 林班の各一部</p>	<p>木曾川の上流部に位置し、多数の滝や木曾川の水流によって花崗岩が侵食されてできた渓谷地形が存在すし、木曾川の川岸に直立する巨大な花崗岩はダイナミックな景観であり、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域である。</p>	<p>19 〔 国 19 公 0 私 0 〕</p>
木曾田立の滝	<p>長野県木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 92 林班、2117 林班、2118 林班、2120 林班、2121 林班、2125 林班及び 2126 林班の各一部</p>	<p>木曾川に流れ込む大滝川に位置し、花崗岩質の峡谷にいくつもの滝が存在する。その中でも花崗岩壁からくずれるように流れる高さ 40m の滝は圧巻である。特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域である。</p>	<p>31 〔 国 31 公 0 私 0 〕</p>

合 計	3,300			
	3,272			
	0			
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">国</td> <td style="text-align: center;">公</td> <td style="text-align: center;">私</td> </tr> </table>	国	公	私
国	公	私		

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
長野県	飯田市 大字大平及び大字松川入の各一部	335 〔 国 0 公 195 私 140 〕
	伊那市 大字伊那の一部	85 〔 国 0 公 58 私 27 〕
	駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2101 林班から 2103 林班まで、2109 林班及び 2110 林班の各一部	495 〔 国 495 公 0 私 0 〕
	塩尻市内 国有林中信森林管理署 1536 林班の一部	39 〔 国 39 公 0 私 0 〕
	上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2235 林班及び 2244 林班の全部並びに 2236 林班、2237 林班、2240 林班から 2242 林班まで、2245 林班、2249 林班及び 2250 林班の各一部	489 〔 国 489 公 0 私 0 〕
	木曽郡上松町内 国有林木曽森林管理署 21 林班、22 林班、26 林班、331 林班から 334 林班まで、358 林班及び 359 林班の各一部	650 〔 国 600 公 28 私 22 〕
	木曽郡南木曽町内 国有林木曽森林管理署南木曽支署 92 林班、94 林班、327 林班、328 林班、335 林班、336 林班、2117 林班、2118 林班及び 2126 林班の各一部	76 〔 国 76 公 0 私 0 〕
	木曽郡大桑村内 国有林木曽森林管理署南木曽支署 1322 林班から 1325 林班まで、1328 林班から 1330 林班まで、1362 林班から 1365 林班まで、1368 林班から 1370 林班まで、1399 林班、1400 林班、1412 林班及び 1418 林班の各一部	1,528 〔 国 1,528 公 0 私 0 〕

長野県	木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 644 林班及び 648 林班から 658 林班 までの各一部	<table border="0"> <tr><td></td><td>365</td></tr> <tr><td>〔 国</td><td>365</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> </table>		365	〔 国	365	公	0	私	0
	365									
〔 国	365									
公	0									
私	0									
合 計		<table border="0"> <tr><td></td><td>4,062</td></tr> <tr><td>〔 国</td><td>3,592</td></tr> <tr><td>公</td><td>281</td></tr> <tr><td>私</td><td>189</td></tr> </table>		4,062	〔 国	3,592	公	281	私	189
	4,062									
〔 国	3,592									
公	281									
私	189									

(表7：第2種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
木曾山脈連峰	<p>長野県駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2101 林班から 2103 林班まで、2109 林班及び 2110 林班の各一部 長野県塩尻市内 国有林中信森林管理署 1536 林班の一部 長野県上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2235 林班及び 2244 林班の全部並びに 2236 林班、2237 林班、2240 林班から 2242 林班まで、2245 林班、2249 林班及び 2250 林班の各一部 長野県木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 21 林班、22 林班、26 林班、331 林班から 334 林班まで、358 林班及び 359 林班の各一部 長野県木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 327 林班、328 林班、335 林班及び 336 林班の各一部 長野県木曾郡大桑村内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 1322 林班から 1325 林班まで、1328 林班から 1330 林班まで、1362 林班から 1365 林班まで、1368 林班から 1370 林班まで、1399 林班、1400 林班、1412 林班及び 1418 林班の各一部</p>	<p>森林限界に達していないシラビソ等が広く分布している地区である。 超百山から大平宿までの稜線部は、原生的なササ草原が広がっており、このササ草原一帯は重要な水源地となっている。 利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域である。</p>	

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
	長野県木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 644 林班及び648 林班から 658 林班までの各一部 長野県飯田市 大字大平及び大字松川入の各一部 長野県伊那市 大字伊那の一部 長野県木曾郡上松町 大字小川の一部		3,916 〔 国 3,475 公 266 私 175 〕
寝覚の床周辺	長野県木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 21 林班、22 林班及び26 林班の各一部	寝覚の床を囲うようにヒノキ林等の植林が分布しており、溪流景観と緑との調和が成り立っている。 利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域である。	89 〔 国 60 公 15 私 14 〕
木曾田立の滝周辺	長野県木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 92 林班、94 林班、2117 林班、2118 林班及び2126 林班の各一部	田立の滝奥に位置する自然公園には高層湿原が発達しており、貴重である。 利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域である。	57 〔 国 57 公 0 私 0 〕
	合 計		4,062 〔 国 3,592 公 281 私 189 〕

(二) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
長野県	飯田市内 国有林南信森林管理署 3196 林班から 3201 林班までの全部	2,357
	飯田市 大字大平及び大字松川入の各一部	〔 国 184 公 2,040 私 133 〕
	伊那市 大字伊那の一部	404 〔 国 0 公 177 私 227 〕
	駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2104 林班から 2108 林班まで、2150 林班、2151 林班、2253 林班、2254 林班及び 2258 林班から 2263 林班までの全部並びに 2101 林班、2103 林班、2109 林班及び 2255 林班から 2257 林班までの各一部	1,810 〔 国 1,735 公 75 私 0 〕
	駒ヶ根市 大字赤穂の一部	
	塩尻市内 国有林中信森林管理署 1527 林班から 1531 林班までの全部及び 1536 林班の一部	523 〔 国 523 公 0 私 0 〕
	上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2238 林班、2239 林班、2243 林班、2251 林班及び 2252 林班の全部並びに 2236 林班、2237 林班、2242 林班、2245 林班、2249 林班、2250 林班及び 2264 林班の各一部	1,140 〔 国 676 公 191 私 273 〕
上伊那郡飯島町 大字七久保の一部		
上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2112 林班から 2134 林班まで、2137 林班、2138 林班及び 2140 林班から 2149 林班までの全部並びに 2111 林班、2135 林班、2136 林班及び 2139 林班の各一部	2,368 〔 国 2,026 公 270 私 72 〕	
上伊那郡宮田村 新田の一部		

長野県	下伊那郡阿智村内 国有林南信森林管理署 3302 林班から 3318 林班までの全部 下伊那郡阿智村 大字清内路及び大字智里の各一部	1,429 〔 国 1,254 公 175 私 0 〕
	木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 317 林班から 330 林班まで、343 林班、 344 林班及び 346 林班から 352 林班までの全部並びに 331 林 班、337 林班、338 林班、341 林班、342 林班、358 林班及び 359 林班の各一部	1,974 〔 国 1,974 公 0 私 0 〕
	木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 326 林班、337 林班、338 林 班、376 林班、377 林班、565 林班、573 林班から 589 林班ま で、593 林班から 598 林班まで、2119 林班及び 2122 林班から 2124 林班までの全部並びに 327 林班、328 林班、335 林班、336 林班、378 林班から 380 林班まで、386 林班、2116 林班、2120 林班、2121 林班及び 2126 林班の各一部 木曾郡南木曾町 大字吾妻広瀬及び大字田立の各一部	1,367 〔 国 1,173 公 122 私 72 〕
	木曾郡大桑村内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 1321 林班、1326 林班、1327 林班、1331 林班から 1334 林班まで、1361 林班、1366 林班、 1373 林班、1376 林班、1377 林班及び 1395 林班から 1397 林班 までの全部並びに 1322 林班から 1325 林班まで、1328 林班から 1330 林班まで、1336 林班、1339 林班、1355 林班、1356 林班、 1360 林班、1362 林班から 1372 林班まで、1386 林班、1387 林 班、1393 林班、1394 林班、1399 林班から 1402 林班まで、1408 林班、1410 林班から 1412 林班まで及び 1414 林班から 1418 林 班までの各一部	3,779 〔 国 3,779 公 0 私 0 〕
	木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 640 林班、643 林班、647 林班、660 林班 及び 662 林班の全部並びに 641 林班、642 林班、644 林班から 646 林班まで、648 林班から 657 林班まで及び 664 林班の各一 部	1,196 〔 国 1,196 公 0 私 0 〕
	合 計	18,347 〔 国 14,520 公 3,050 私 777 〕

(表9：第3種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
木曾山脈連峰	<p>長野県飯田市内 国有林南信森林管理署 3196 林班から 3201 林班までの全部 長野県駒ヶ根市内 国有林南信森林管理署 2104 林班から 2108 林班まで、2150 林班、 2151 林班、2253 林班、2254 林班及び 2258 林班から 2263 林班ま での全部並びに 2101 林班、2103 林班、2109 林班及び 2255 林班 から 2257 林班までの各一部 長野県塩尻市内 国有林中信森林管理署 1527 林班から 1531 林班までの全部及び 1536 林班の一部 長野県上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2238 林班、2239 林班、2243 林班、2251 林班及び 2252 林班の全部並びに 2236 林班、2237 林班、2242 林 班、2245 林班、2249 林班、2250 林班及び 2264 林班の各一部 長野県上伊那郡宮田村内 国有林南信森林管理署 2112 林班から 2134 林班まで、2137 林班、 2138 林班及び 2140 林班から 2149 林班までの全部並びに 2111 林班、2135 林班、2136 林班及び 2139 林班の各一部 長野県下伊那郡阿智村内 国有林南信森林管理署 3302 林班から 3318 林班までの全部</p>	<p>標高の高い地域には手付かずの自然林が 広く分布しており、麓に近づくスギ・ヒノキ・ サワラ等の人工林が分布しており、良好な風 致を構成している。利用上重要な土地及びそ の周辺地で、風致に重大な影響を及ぼさない 範囲で風致の維持を図る必要がある地域で ある。</p>	

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
	<p>長野県木曾郡上松町内 国有林木曾森林管理署 317 林班から 330 林班まで、343 林班、 344 林班及び 346 林班から 352 林班までの全部並びに 331 林班、 337 林班、338 林班、341 林班、342 林班、358 林班及び 359 林班 の各一部 長野県木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 326 林班、337 林班、338 林班、 376 林班、377 林班、565 林班、573 林班から 589 林班まで及び 593 林班から 598 林班までの全部並びに 327 林班、328 林班、335 林班、336 林班、378 林班から 380 林班まで及び 386 林班の各一 部 長野県木曾郡大桑村内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 1321 林班、1326 林班、1327 林 班、1331 林班から 1334 林班まで、1361 林班、1366 林班、1373 林班、1376 林班、1377 林班及び 1395 林班から 1397 林班までの 全部並びに 1322 林班から 1325 林班まで、1328 林班から 1330 林 班まで、1336 林班、1339 林班、1355 林班、1356 林班、1360 林 班、1362 林班から 1372 林班まで、1386 林班、1387 林班、1393 林班、1394 林班、1399 林班から 1402 林班まで、1408 林班、1410 林班から 1412 林班まで及び 1414 林班から 1418 林班までの各一 部</p>		

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
	<p>長野県木曾郡木曾町内 国有林木曾森林管理署 640 林班、643 林班、647 林班、660 林班 及び 662 林班の全部並びに 641 林班、642 林班、644 林班から 646 林班まで、648 林班から 657 林班まで及び 664 林班までの各 一部 長野県飯田市 大字大平及び大字松川入の各一部 長野県伊那市 大字伊那の一部 長野県駒ヶ根市 大字赤穂の一部 長野県上伊那郡飯島町 大字七久保の一部 長野県上伊那郡宮田村 新田の一部 長野県下伊那郡阿智村 大字清内路の一部 長野県木曾郡南木曾町 大字吾妻広瀬の一部</p>		<p style="text-align: right;">16, 693 国 13, 069 公 2, 855 私 769</p>

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
木曾田立の滝周辺	長野県木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 2119 林班及び 2122 林班から 2124 林班までの全部並びに 2116 林班、2120 林班、2121 林班及 び 2126 林班の各一部 長野県木曾郡南木曾町 大字田立の一部	木曾田立の滝を囲うようにヒノキ林等の 植林が分布しており、溪流景観と緑との調和 が成り立っており、良好な風致を構成してい る。利用上重要な土地及びその周辺地で、風 致に重大な影響を及ぼさない範囲で風致の 維持を図る必要がある地域である。	225 〔 国 197 公 20 私 8 〕
恵那山	長野県下伊那郡阿智村内 国有林南信森林管理署 3302 林班から 3318 林班までの全部 長野県下伊那郡阿智村 大字智里の一部	日本百名山の 1 つである恵那山（標高 2,191m）と富士見台高原周辺の地域であり、 中央自動車道からよく眺望できる地域であ り良好な風致を構成している。利用上重要な 土地及びその周辺地で、風致に重大な影響を 及ぼさない範囲で風致の維持を図る必要が ある地域である。	1,429 〔 国 1,254 公 175 私 0 〕
合 計			18,347 〔 国 14,520 公 3,050 私 777 〕

イ 関連事項

(ア) 普通地域

次の区分を普通地域とする。

(表 10：普通地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
長野県	飯田市内 国有林南信森林管理署 3203 林班から 3214 林班までの全部 飯田市 大字大平、大字上郷、大字松川入及び大字横手の各一部	3,864 〔 国 373 〕 公 3,398 私 93
	上伊那郡飯島町内 国有林南信森林管理署 2215 林班から 2219 林班まで、2229 林班 から 2234 林班まで及び 2275 林班の全部並びに 2264 林班一部 上伊那郡飯島町 大字七久保の一部	1,545 〔 国 967 〕 公 490 私 88
	下伊那郡松川町内 国有林南信森林管理署 2211 林班から 2214 林班まで、2220 林班 から 2224 林班まで及び 2266 林班から 2270 林班までの全部 下伊那郡松川町 大字大島及び大字上片桐の各一部	940 〔 国 863 〕 公 0 私 77
	下伊那郡高森町 大字山吹及び大字吉田の各一部	439 〔 国 0 〕 公 424 私 15
	下伊那郡阿智村 大字清内路及び大字智里の各一部	1,663 〔 国 0 〕 公 496 私 1,167
	木曾郡南木曾町内 国有林木曾森林管理署南木曾支署 2127 林班から 2138 林班まで の全部並びに 92 林班、94 林班、2125 林班及び 2126 林班の各 一部 木曾郡南木曾町 大字田立の一部	457 〔 国 443 〕 公 0 私 14
	木曾郡木曾町 大字新開及び大字福島 of 各一部	323 〔 国 0 〕 公 0 私 323
	合 計	9,231 〔 国 2,646 〕 公 4,808 私 1,777

ウ 面積内訳

地域地区別土地所有別及び市町村別面積は次のとおりとなる。

(表 11：地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位：面積 ha、比率%)

地域区分		特 別 地 域											普通地域 (陸域)			合 計 (陸域)				
地種区分		特別保護地区			第 1 種			第 2 種			第 3 種									
土地所有別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	
長野 県	土地所有別面積	176	0	0	3,272	28	0	3,592	281	189	14,520	3,050	777	2,646	4,808	1,777	24,206	8,167	2,743	
	地種区分別面積				3,300			4,062			18,347									
	地域地区別面積	176												25,709						
	地域別面積												25,885			9,231			35,116	
合 計	土地所有別面積	176	0	0	3,272	28	0	3,592	281	189	14,520	3,050	777	2,646	4,808	1,777	24,206	8,167	2,743	
	地種区分別 面積 (比率)				3,300 (9.4)			4,062 (11.6)			18,347 (52.2)									
	地域別 面積 (比率)	176 (0.5)												25,709 (73.2)						
	地 域 別 面積 (比率)												25,885 (73.7)			9,231 (26.3)			35,116 (100.0)	

(表 12 : 地域地区別市町村別面積総括表)

(単位 : ha)

地域地区 市町村名		特 別 地 域					普通 地域 (陸域)	合計 (陸域)	合計 (海域)	
		特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計				
長野県	飯田市	0	0	335	2,357	2,692	3,864	6,556	0	
	伊那市	0	28	85	404	517	0	517	0	
	駒ヶ根市	34	758	495	1,810	3,097	0	3,097	0	
	塩尻市	0	5	39	523	567	0	567	0	
	上伊那郡	飯島町	0	500	489	1,140	2,129	1,545	3,674	0
		宮田村	142	461	0	2,368	2,971	0	2,971	0
	下伊那郡	松川町	0	0	0	0	0	940	940	0
		高森町	0	0	0	0	0	439	439	0
		阿智村	0	0	0	1,429	1,429	1,663	3,092	0
	木曾郡	上松町	0	414	650	1,974	3,038	0	3,038	0
		南木曾町	0	31	76	1,367	1,474	457	1,931	0
		大桑村	0	821	1,528	3,779	6,128	0	6,128	0
		木曾町	0	282	365	1,196	1,843	323	2,166	0
	合 計		176	3,300	4,062	18,347	25,885	9,231	35,116	0

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

保護施設計画を次のとおりとする。

(表 13：保護施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	自然再生施設	長野県駒ヶ根市、 長野県上伊那郡宮田村、 長野県木曾郡上松町	木曾駒ヶ岳等の稜線周辺では、登山者の踏み荒らし、大量の降雨・降雪による砂礫の移動等により高山チヨウウの吸蜜植物や食草を含む高山植物の植生荒廃が進んでいることから、高山植物及び高山チヨウウの生育・生息環境の自然再生を図る。	新規
2	自然再生施設	長野県駒ヶ根市、 長野県木曾郡大桑村	空木岳稜線の一部周辺等では、登山者の踏み荒らし、大量の降雨・降雪による砂礫の移動等により高山チヨウウの吸蜜植物や食草を含む高山植物の植生荒廃が進んでいることから、高山植物及び高山チヨウウの生育・生息環境の自然再生を図る。	新規

イ 利用施設計画

(ア) 集団施設地区

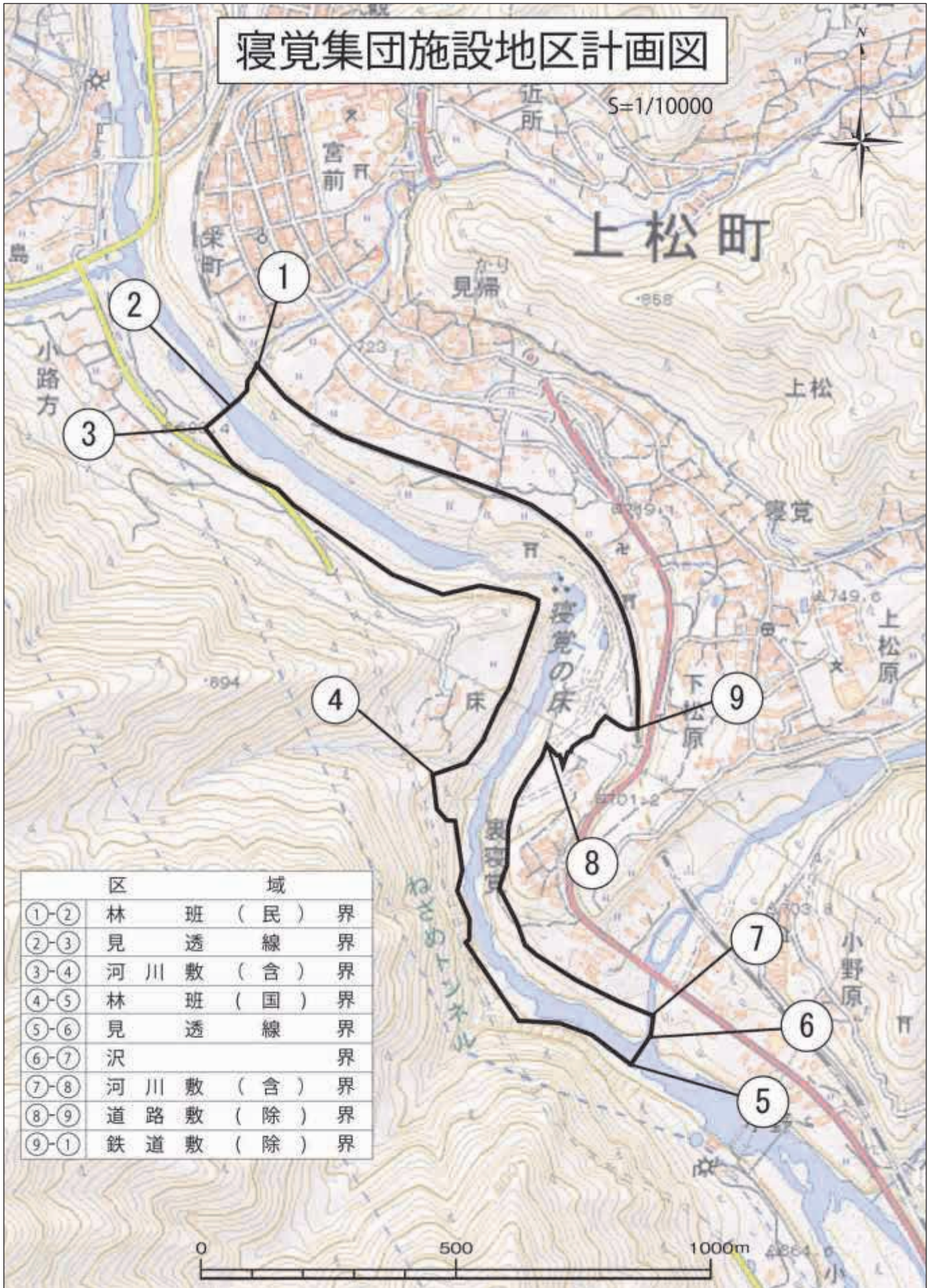
集団施設地区を次のとおりとする。

(表 14：集団施設地区表)

番号	名称	区域	計画目標	整備計画区及び基盤施設	整備方針	面積 (ha)						
1	寝覚	長野県木曾郡上松町大字小川の一部	寝覚の床周辺地域は、木曾川の水流によって侵食された花崗岩が「自然の彫刻」を形成し、優れた景勝地となっており、多くの観光客が訪れている。 この優れた景勝地を生かし、観光地として園地、展望施設、駐車場等の施設を計画するものとする。	寝覚の床整備計画区	自然探勝を楽しむことを主体とした計画である。園地、駐車場、展望施設、休憩施設等の整備を図る。	29	国	公	私			
										0	15	14
				面積 積 計						29		

寢覚集団施設地区計画図

S=1/10000



区	域	界
①-②	林班 (民)	界
②-③	見透線	界
③-④	河川敷 (含)	界
④-⑤	林班 (国)	界
⑤-⑥	見透線	界
⑥-⑦	沢	界
⑦-⑧	河川敷 (含)	界
⑧-⑨	道路敷 (除)	界
⑨-①	鉄道敷 (除)	界

(イ) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 15：単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	避難小屋	長野県飯田市 (安平路山)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
2	避難小屋	長野県飯田市 (摺古木山)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
3	展望施設	長野県飯田市 (摺古木山)	摺古木山からの山岳景観を展望できる展望施設として整備する。	新規
4	園地	長野県飯田市 (黒川大平東沢)	歩道摺古木山線の登山口園地として整備する。	新規
5	園地	長野県飯田市 (大平峠県民の森)	大平峠県民の森における自然散策、休憩のための園地として整備する。	新規
6	野営場	長野県飯田市 (大平峠県民の森)	大平峠県民の森におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
7	避難小屋	長野県伊那市 (大樽)	登山利用者の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
8	宿舎	長野県伊那市 (将基頭山)	将基頭山や茶臼山等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
9	宿舎	長野県駒ヶ根市 (千畳敷)	自然散策及び登山利用者のための宿舎基地として整備する。	新規
10	展望施設	長野県駒ヶ根市 (千畳敷)	千畳敷からの山岳景観を望む展望施設として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
11	避難小屋	長野県駒ヶ根市 (檜尾)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
12	野営場	長野県駒ヶ根市 (檜尾)	檜尾岳等の駒ヶ岳縦走線を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
13	宿舎	長野県駒ヶ根市 (池山)	空木岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
14	避難小屋	長野県駒ヶ根市 (空木平)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
15	野営場	長野県駒ヶ根市 (空木平)	空木岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
16	宿舎	長野県駒ヶ根市 (空木岳)	空木岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
17	避難小屋	長野県上伊那郡飯島町 (摺鉢窪)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
18	園地	長野県上伊那郡飯島町 (南駒ヶ岳)	南駒ヶ岳からの山岳景観を望む園地として整備する。	新規
19	野営場	長野県上伊那郡飯島町 (越百山)	越百山等の駒ヶ岳縦走線を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
20	園地	長野県上伊那郡飯島町 (傘山)	傘山周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
21	園地	長野県上伊那郡飯島町 (シオジ平)	シオジ平における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
22	園地	長野県上伊那郡飯島町 (千人塚)	千人塚公園における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
23	宿舎	長野県上伊那郡飯島町 (千人塚)	千人塚公園における自然探勝利用者のための宿泊基地として整備する。	新規
24	野営場	長野県上伊那郡飯島町 (千人塚)	千人塚公園におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
25	野営場	長野県上伊那郡飯島町 (与田切乗越)	奥念丈岳や念丈岳登山等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
26	避難小屋	長野県上伊那郡飯島町 (念丈岳)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
27	園地	長野県上伊那郡宮田村 (伊勢滝)	伊勢滝周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
28	園地	長野県上伊那郡宮田村 (黒川平)	自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
29	園地	長野県上伊那郡宮田村 (濃ヶ池)	濃ヶ池周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
30	園地	長野県上伊那郡宮田村 (清水平)	清水平周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
31	宿舎	長野県上伊那郡宮田村 (木曾駒ヶ岳・宝剣岳)	木曾駒ヶ岳、中岳、宝剣岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
32	野営場	長野県上伊那郡宮田村 (木曾駒ヶ岳・中岳)	木曾駒ヶ岳、中岳、宝剣岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
33	避難小屋	長野県上伊那郡宮田村 (宝剣岳)	避難小屋として開放（遭難防止対策）し、登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
34	案内所	長野県上伊那郡宮田村 (宝剣岳)	木曾駒ヶ岳、中岳、宝剣岳等の登山利用者に対する案内施設として整備する。	新規
35	野営場	長野県上伊那郡宮田村 (宝剣岳)	木曾駒ヶ岳、中岳、宝剣岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
36	野営場	長野県上伊那郡宮田村 (鉾盾山)	鉾盾山周辺におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
37	園地	長野県上伊那郡宮田村 (不動滝)	不動滝周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
38	園地	長野県上伊那郡宮田村 (しらび平)	しらび平周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
39	野営場	長野県上伊那郡宮田村 (しらび平)	しらび周辺におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
40	園地	長野県下伊那郡高森町 (不動滝)	不動滝周辺の自然探勝利用のための園地として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
41	宿舎	長野県下伊那郡阿智村 (富士見台)	富士見台、神坂山、大判山及び恵那山等の登山利用者や自然探勝のための宿泊基地として整備する。	新規
42	野営場	長野県下伊那郡阿智村 (富士見台)	富士見台におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
43	園地	長野県下伊那郡阿智村 (神坂峠)	神坂峠遺跡周辺の自然探勝利用のための園地として整備する。	新規
44	園地	長野県下伊那郡阿智村 (園原)	園原の里周辺の自然探勝利用のための園地として整備する。	新規
45	園地	長野県下伊那郡阿智村 (広河原)	恵那山への登山口で、登山利用者のための園地として整備する。	新規
46	園地	長野県下伊那郡阿智村 (恵那山)	恵那山からの山岳景観の展望、休息のための園地として整備する。	新規
47	避難小屋	長野県下伊那郡阿智村 (恵那山)	恵那山の登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
48	園地	長野県木曽郡上松町 (上松Bコース口)	上松Bコース線の登山口における登山利用者のための園地として整備する。	新規
49	園地	長野県木曽郡上松町 (木曾駒ヶ岳)	木曾駒ヶ岳からの山岳景観の展望、休息のための園地として整備する。	新規
50	宿舎	長野県木曽郡上松町 (木曾駒ヶ岳)	木曾前岳、木曾駒ヶ岳、中岳、宝剣岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
51	園地	長野県木曾郡上松町 (遠見場)	麦草岳への登山道途中において山岳景観の展望、休息のための施設として整備する。	新規
52	宿舎	長野県木曾郡上松町 (上御口五合目金懸岩)	木曾駒ヶ岳を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
53	園地	長野県木曾郡上松町 (敬神ノ滝)	木曾駒ヶ岳登山者のための園地として整備する。	新規
54	宿舎	長野県木曾郡上松町 (敬神ノ滝)	木曾駒ヶ岳を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
55	避難小屋	長野県木曾郡南木曾町 (床浪高原)	床浪高原や登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
56	野営場	長野県木曾郡南木曾町 (床浪高原)	キャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
57	園地	長野県木曾郡南木曾町 (木曾峠木曾見茶屋)	夏焼岳登山利用者のための園地として整備する。	新規
58	園地	長野県木曾郡南木曾町 (大平峠)	大平峠県民の森の自然散策、兀岳登山のための園地・駐車場として整備する。	新規
59	宿舎	長野県木曾郡大桑村 (木曾殿越)	空木岳等を登山するための宿泊基地として整備する。	新規
60	避難小屋	長野県木曾郡大桑村 (倉本東川本谷)	登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
61	避難小屋	長野県木曾郡大桑村 (越百山八合目)	越百山等の登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
62	園地	長野県木曾郡木曾町 (キビオ)	歩道福島Aコース線の登山口における登山利用者のための園地として整備する。	新規
63	園地	長野県木曾郡木曾町 (木曾駒高原)	歩道福島Bコース線の登山口における登山利用者のための園地として整備する。	新規
64	野営場	長野県木曾郡木曾町 (大原)	大原におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
65	給水施設	長野県木曾郡木曾町 (大原コガラ)	木曾駒高原における公園利用者等に給水するための施設として整備する。	新規
66	避難小屋	長野県木曾郡木曾町 (木曾駒ヶ岳七合目)	木曾駒ヶ岳の登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
67	園地	長野県木曾郡南木曾町 (天然公園)	天然公園における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規
68	避難小屋	長野県木曾郡南木曾町 (天然公園)	天然公園等の登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
69	野営場	長野県木曾郡南木曾町 (天然公園)	天然公園におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規
70	園地	長野県木曾郡南木曾町 (田立ノ滝不動岩)	不動岩周辺における自然散策、休憩、展望のための園地として整備する。	新規

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
71	避難小屋	長野県木曾郡南木曾町（田立ノ滝入口靖平）	田立の滝や天然公園に至る登山利用者の必要最低限の安全を確保する避難施設として整備する。	新規
72	園地	長野県木曾郡南木曾町（靖平）	田立の滝探勝利用者や登山利用者のための園地として整備する。	新規
73	野営場	長野県木曾郡南木曾町（靖平）	靖平におけるキャンプ、自然探勝等の野外活動の場として整備する。	新規

(ウ) 道路

a 車道

車道を次のとおりにする。

(表 16 : 道路 (車道) 表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	松川入線	起点－長野県飯田市 (大字上飯田須官・国定公園境界) 終点－長野県飯田市 (大字上飯田ウサギ沢)	箒沢、割沢	大西滝線道路 (歩道) へ至る車道として整備する。	新規
2	野底山線	起点－長野県飯田市 (野底川・国定公園境界) 終点－長野県飯田市 (越田峠下)		越田峠線道路 (歩道) へ至る車道として整備する。	新規
3	東沢線	起点－長野県飯田市 (大字東沢・国定公園境界) 終点－長野県飯田市 (大字摺古木)		摺古木山線 (歩道) へ至る車道として整備する。摺古木山及び安平路山への主要路となるため、登山口には駐車場を付帯する。	新規
4	飯田南木曾線	起点－長野県飯田市 (大字上飯田大平・国定公園境界) 終点－長野県木曾郡南木曾町 (漆畑・国定公園境界)		大平峠へ至る車道として整備する。	新規
5	与田切線	起点－長野県上伊那郡飯島町 (七久保区北村・国定公園境界) 終点－長野県上伊那郡飯島町 (七久保区中川沢)	シオジ平、千人塚	千人塚から越百山線道路 (歩道) へ至る車道として、シオジ平の景観を損なわないように整備する。また、シオジ平には駐車場を付帯する。	新規
6	寺沢線	起点－長野県上伊那郡宮田村 (宮田高原・国定公園境界) 終点－長野県上伊那郡宮田村 (字黒川山・車道合流点)	駒ヶ根野営場	伊勢滝線道路 (車道) へ至る車道として整備する。	新規
7	伊勢滝線	起点－長野県上伊那郡宮田村 (新田・国定公園境界) 終点－長野県上伊那郡宮田村 (黒川山)	不動滝、伊勢滝	菅の台から伊勢滝へ至る車道として整備するとともに、不動滝、伊勢滝周辺の景観を楽しむための車道としても整備する。	新規
8	中御所線	起点－長野県上伊那郡宮田村 (新田・国定公園境界) 終点－長野県上伊那郡宮田村 (しらび平駅)		菅の台からしらび平へ至る車道として整備するとともに、中央アルプス亜高山帯の景観を楽しむための車道としても整備する	新規
9	松川線	起点－長野県下伊那郡松川町 (大字大島区雨乞滝・国定公園境界) 終点－長野県下伊那郡松川町 (畑ヶ滝)	屏風岩、燕岩、畑ヶ滝	畑ヶ滝へ至る車道として整備するとともに、屏風岩、燕岩、畑ヶ滝を楽しむための車道としても整備する。	新規
10	萬岳荘線	起点－長野県下伊那郡阿智村 (神坂峠・国定公園境界) 終点－長野県下伊那郡阿智村 (萬岳荘)		萬岳荘へ至る車道として整備する。	新規
11	神坂峠線	起点－長野県下伊那郡阿智村 (神坂峠・国定公園境界) 終点－長野県下伊那郡阿智村 (大字智里区園原)	神坂峠、神坂神社	神坂峠へ至る車道として整備するとともに恵那山の景観を楽しむための車道としても整備する。	新規
12	京平線	起点－長野県下伊那郡阿智村 (富士見・車道分岐点) 終点－長野県下伊那郡阿智村 (へブンスそのはら)		へブンスそのはらへ至る車道として整備する。	新規
13	大谷霧ヶ原線	起点－長野県下伊那郡阿智村 (大字智里区戸沢・国定公園境界) 終点－長野県下伊那郡阿智村 (神坂峠・国定公園境界)		神坂峠へ至る車道として整備する。	新規
14	正兼線	起点－長野県木曾郡南木曾町 (田立字犬野入・国定公園境界) 終点－長野県木曾郡南木曾町 (田立滝上)	鯖平野営場、柿其峠	田立線道路 (歩道) へ至る車道として整備するとともに、木曾川周辺の景観を楽しむための車道として整備する。	新規
15	町道コガラ線	起点－長野県木曾郡木曾町 (新開大原・国定公園境界) 終点－長野県木曾郡木曾町 (新開大原)		茶臼山線道路 (歩道) へ至る車道として整備するとともに、木曾川周辺の景観を楽しむための車道として整備する。	新規
16	林道木曾駒山麓線	起点－長野県木曾郡木曾町 (キビオ・国定公園境界) 終点－長野県木曾郡木曾町 (キビオ)		福島Aコース線 (歩道) へ至る車道として整備するとともに、木曾川周辺の景観を楽しむための車道として整備する。	新規

b 歩道

歩道を次のとおりにする。

(表 17：道路（歩道）表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	駒ヶ岳縦走線	起点－長野県伊那市（小黒日向・国定公園境界） 終点－長野県木曾郡南木曾町（大平峠）	将基頭山、木曾駒ヶ岳、空木岳、南駒ヶ岳、越百山、奥念丈岳、摺古木山	中央アルプス木曾山脈の縦走登山道として整備する。整備にあたっては、稜線に生育する高山植物や濃ヶ池等に十分配慮するものとする。	新規
2	摺古木山線	起点－長野県飯田市（大字摺古木・摺古木山自然園休憩舎前） 終点－長野県飯田市（大字摺古木・歩道合流点）	摺古木山	東沢線道路（車道）から摺古木山へ至る登山道として整備する。	新規
3	大西滝線	起点－長野県飯田市（大字上飯田砂古谷・国定公園境界） 終点－長野県飯田市（大字上飯田ウサギ沢）	安平路山、大西ノ滝	松川入線道路（車道）から安平路山へ至る登山道として整備する。	新規
4	小西滝線	起点－長野県飯田市（大字上飯田砂古谷・国定公園境界） 終点－長野県飯田市（大字上飯田摺古木山・歩道合流点）	小西ノ滝、風穴山	小西ノ滝、風穴山へ至る登山道として整備する。	新規
5	越田峠線	起点－長野県飯田市（野底川入越田峠下） 終点－長野県飯田市（大字上飯田松川入割沢）		長野県飯田市南部から車道松川入線への連絡路として整備する。	新規
6	大平峠県民の森線	起点－長野県飯田市（大瀬木・歩道分岐点） 終点－長野県飯田市（大平峠県民の森）		駒ヶ岳縦走線から大平峠県民の森線への連絡路として整備する。	新規
7	風越線	起点－長野県飯田市（野底川・国定公園境界） 終点－長野県飯田市（大字上飯田風越山・国定公園境界）		風越山への登山道として整備する。	新規
8	権現山将基頭山線	起点－長野県伊那市（辻山・国定公園境界） 終点－長野県伊那市（将基頭山・歩道合流点）		将基頭山への登山道として整備する。	新規
9	桂小場権現づるね線	起点－長野県伊那市（桂小場・国定公園境界） 終点－長野県伊那市（権現づるね・歩道合流点）		権現山将基頭山への登山道として整備する。	新規
10	檜尾線	起点－長野県駒ヶ根市（檜尾） 終点－長野県駒ヶ根市（檜尾岳・歩道合流点）		檜尾岳の登山道として整備する。	新規
11	池山線	起点－長野県駒ヶ根市（池山・国定公園境界） 終点－長野県駒ヶ根市（空木岳・歩道合流点）		空木岳への登山道として整備する。	新規
12	空木岳駒石コース線	起点－長野県駒ヶ根市（空木平分岐・歩道分岐点） 終点－長野県駒ヶ根市（駒峰ヒュッテ・歩道合流点）		空木岳駒石への登山道として整備する。	新規
13	摺鉢窪避難小屋線	起点－長野県上伊那郡飯島町（飯島・歩道分岐点） 終点－長野県上伊那郡飯島町（摺鉢窪避難小屋）		摺鉢窪への登山道として整備する。	新規
14	黒覆山線	起点－長野県上伊那郡飯島町（七久保区黒覆山下） 終点－長野県上伊那郡飯島町（七久保区黒覆山頂）		黒覆山への登山道として整備する。	新規
15	越百山線	起点－長野県上伊那郡飯島町（七久保区中川沢） 終点－長野県上伊那郡飯島町（越百山頂・歩道合流点）		越百山への登山道として整備する。	新規

16	八丁坂線	起点ー長野県上伊那郡宮田村（千畳敷・歩道分岐点） 終点ー長野県上伊那郡宮田村（乗越浄土・歩道合流点）		千畳敷から駒ヶ岳縦走線への連絡路として整備する。	新規
17	濃ヶ池線	起点ー長野県上伊那郡宮田村（黒川山・歩道分岐点） 終点ー長野県上伊那郡宮田村（剣ヶ峰・歩道合流点）		黒川山から駒ヶ岳縦走線への連絡路として整備する。	新規
18	駒飼ノ池線	起点ー長野県上伊那郡宮田村（夫婦滝・歩道分岐点） 終点ー長野県上伊那郡宮田村（駒飼ノ池・歩道合流点）		夫婦滝から駒ヶ岳縦走線への連絡路として整備する。	新規
19	剣ヶ峰線	起点ー長野県上伊那郡宮田村（しらび平駅） 終点ー長野県駒ヶ根市（極楽平・歩道合流点）		しらび平駅から駒ヶ岳縦走線への連絡路として整備する。	新規
20	長谷部新道	起点ー長野県上伊那郡宮田村（小屋場・歩道分岐点） 終点ー長野県駒ヶ根市（千畳敷・歩道合流点）		小屋場から木曾駒ヶ岳への連絡路として整備する。	新規
21	清水平前岳線	起点ー長野県上伊那郡宮田村（新田） 終点ー長野県上伊那郡宮田村（剣ヶ峰・歩道合流点）	清水平、一丁池、前岳	宝剣岳、前岳への登山道として整備する。	新規
22	烏帽子念丈岳線	起点ー長野県下伊那郡松川町（小八郎岳・国定公園境界） 終点ー長野県上伊那郡飯島町（念丈岳頂上・歩道合流点）	烏帽子岳、池の平	烏帽子岳、念丈岳への登山道として整備する。	新規
23	大島山線	起点ー長野県下伊那郡松川町（大字大島区雨乞滝・国定公園境界） 終点ー長野県下伊那郡松川町（大島山頂上・歩道合流点）		大島山への登山道として整備する。	新規
24	奥念丈岳線	起点ー長野県下伊那郡松川町（本高森山頂上・歩道分岐点） 終点ー長野県飯田市（大字飯田奥念丈岳・歩道合流点）	不動滝、本高森山、念丈岳	本高森山、念丈岳、奥念丈岳への登山道として整備する。	新規
25	本高森山線	起点ー長野県下伊那郡高森町（吉田山・国定公園境界） 終点ー長野県下伊那郡松川町（本高森山頂・歩道合流点） 終点ー長野県下伊那郡松川町（前高森山頂）		本高森山及び前高森山への登山道として整備する。	新規
26	神坂峠線	起点ー長野県下伊那郡阿智村（上清内路・国定公園境界） 終点ー長野県下伊那郡阿智村（智里本谷川入千両山）	南沢山、横川山、富士見台、恵那山、恵那神社	恵那山、富士見台、横川山、南沢山への登山道として整備する。整備にあたっては、富士見台のササユリに十分配慮するものとする。	新規
27	横川線	起点ー長野県下伊那郡阿智村（横川・国定公園境界） 終点ー長野県下伊那郡阿智村（南沢山・歩道合流点）		南沢山への登山道として整備する。	新規
28	神坂山線	起点ー長野県下伊那郡阿智村（神坂小屋） 終点ー長野県下伊那郡阿智村（萬岳荘）		神坂山への登山道として整備する。整備にあたっては、富士見台のササユリに十分配慮するものとする。	新規
29	富士見台線	起点ー長野県下伊那郡阿智村（園原西） 起点ー長野県下伊那郡阿智村（園原東） 終点ー長野県下伊那郡阿智村（富士見台・歩道合流点）		富士見台への登山道として整備する。	新規
30	パノラマルート線	起点ー長野県下伊那郡阿智村（富士見） 終点ー長野県下伊那郡阿智村（智里・歩道合流点）		恵那山への登山道として整備する。	新規
31	鳥越線	起点ー長野県下伊那郡阿智村（京平） 終点ー長野県下伊那郡阿智村（鳥越峠・歩道合流点）		恵那山への登山道として整備する。	新規
32	上松Bコース線	起点ー長野県木曾郡上松町（奇美世登山口・国定公園境界） 終点ー長野県木曾郡木曾町（麦草岳・歩道合流点）	奇美世滝	キビヨ登山線への連絡路及び歴史ある修験道としての整備及び維持管理を図る。	新規

33	上松Aコース線	起点－長野県木曾郡上松町（敬神ノ滝・国定公園境界） 終点－長野県木曾郡上松町（玉ノ窪・歩道合流点）	金懸岩、遠見場小屋	木曾前岳への登山道及び歴史ある修験道としての整備及び維持管理を図る。	新規
34	田立線	起点－長野県木曾郡南木曾町（大字大野字鱒平） 終点－長野県木曾郡南木曾町（柿其・国定公園境界）	田立ノ滝、天然公園	田立ノ滝および天然公園への自然探勝路として整備する。整備にあたっては、天然公園の高層湿原植生に十分配慮するものとする。	新規
35	夏焼岳線	起点－長野県木曾郡南木曾町（夏焼岳入口・車道分岐点） 終点－長野県木曾郡南木曾町（夏焼岳）		夏焼岳への登山道として整備する。	新規
36	兀岳線	起点－長野県木曾郡南木曾町（大平峠） 終点－長野県下伊那郡阿智村（兀岳）		兀岳への登山道として整備する。	新規
37	三ノ沢岳線	起点－長野県木曾郡大桑村（中八丁峠先） 終点－長野県木曾郡大桑村（三ノ沢分岐・歩道合流点）	千畳敷、剣ヶ峰	千畳敷への登山道として整備する。また、千畳敷としらび平をつなぐロープウェイが運休時の緊急路として整備する。	新規
38	東川本谷線	起点－長野県木曾郡大桑村（伊那川東川本谷・国定公園境界） 終点－長野県木曾郡大桑村（木曾殿越・歩道合流点）		駒ヶ岳縦走線への連絡路として整備する。	新規
39	南駒ヶ岳線	起点－長野県木曾郡大桑村（ケサ沢・国定公園境界） 終点－長野県木曾郡大桑村（南駒ヶ岳・歩道合流点）	摺鉢窪、南駒ヶ岳、伊那川、ケサ川	南駒ヶ岳への登山道として整備する。	新規
40	木曾越百山線	起点－長野県木曾郡大桑村（大字須原・国定公園境界） 終点－長野県木曾郡大桑村（越百山・歩道合流点）		越百山への登山道として整備する。	新規
41	福島Aコース線	起点－長野県木曾郡木曾町（キビオ） 終点－長野県木曾郡上松町（玉ノ窪・歩道福島Bコース線分岐点）	赤林山、駒石、麦草山	木曾前岳への登山道及び歴史ある修験道としての整備及び維持管理を図る。	新規
42	福島Bコース線	起点－長野県木曾郡木曾町（新開大原） 終点－長野県木曾郡上松町（木曾駒ヶ岳・歩道合流点）	玉ノ窪、木曾前岳	木曾前岳、木曾駒ヶ岳への登山道及び歴史ある修験道としての整備及び維持管理を図る。	新規
43	茶臼コース線	起点－長野県木曾郡木曾町（大榎入山・国定公園境界） 終点－長野県木曾郡木曾町（行者岩・歩道合流点）	茶臼山	茶臼山への登山道として整備する。	新規

(二) 運輸施設

運輸施設を次のとおりにする。

(表 18 : 運輸施設表)

番号	路線名	種類	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	中御所谷線	索道運送施設	起点－長野県上伊那郡宮田村（しらび平） 終点－長野県駒ヶ根市（大字赤穂千畳敷）	しらび平～千畳敷	既存索道を公園計画に位置付けるものとして、自然探勝、登山利用者が千畳敷へ移動するための索道として整備する。	新規

(2) 生態系維持回復計画

生態系維持回復計画を次のとおりとする。

(表 19 : 生態系維持回復計画表)

番号	名称	位置	事業の実施方針	告示年月日
1	中央アルプス	中央アルプス国定公園全域	中央アルプスでは平成 25 年に木曾駒ヶ岳の標高 2600 メートル付近の高山帯においてニホンジカが確認されており、中央アルプスに生息する希少チョウ類の食草である高山植物への食害等の被害拡大が懸念される。そこで、公園内の生態系の維持又は回復を図るため、ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル等による生態系への影響を把握するためのモニタリング調査を実施するとともに、その防除等(防鹿柵設置等)によって、高山帯における生態系への影響の低減を図る。また、これらの対策の効果を検証するため、事後モニタリングを実施し、その成果を対策に反映する順応的管理を実施する。	新規